

御堂筋彫刻ストリートについて (計画の概要)

大阪市では、豊かな都市生活を楽しめるよう、身近に芸術・文化に親しむことができる機会の充実や市民の誇りと愛着を育む、優れた都市景観の形成など、大阪の都市魅力の向上に努めています。

御堂筋は大阪の顔となるメインストリートであり、沿道一体は西日本の業務中枢、情報中心としての都市機能を有しているとともに、その周辺には東洋陶磁美術館を初め、公・民の美術館も点在し、文化的な面もあわせ持っています。さらに、御堂筋オープンフェスタなどのイベント空間としても市民に親しまれており、より一層アメニティ豊かな芸術・文化軸としていくため、御堂筋彫刻ストリートの推進を図っています。

- (1) 事業区域：御堂筋の土佐堀通から長堀通までの区間、延長約 2 Km。
- (2) 設置場所：1 街区に 1 点として、土佐堀通から中央大通までの区間では両側歩道の車道よりに設置し、中央大通から長堀通までの区間では企業の敷地内の歩道際に設置する。
- (3) 設置時期：平成 4 年度より現地設置
- (4) 彫刻作品：

作品

彫刻作品は、大阪市の豊かな市民生活と多彩な都市イメージを象徴的に表すものとして、「人間讃歌」を主テーマとし、「人体」をモチーフとする。また、事業区域全体が調和のとれた彫刻群、まちなみとなるよう配慮するものとする。

作品収集の方法は、原則として、大阪市が御堂筋の沿道の企業等より寄贈を受けるものとする。

形状

高さ：台座の高さを含めて全体で約 2 m (彫刻本体の高さは、おおよそ 1 m 以上)

幅：台座幅 60cm ~ 80cm 程度

材質

大気汚染、酸性雨に耐えるものであり、修復が可能なもの(例、ブロンズ)

グレード

作品は、抽象・具象、国内・国外を問わず芸術性の高いもの

- (5) 彫刻の選定

市が設置する「御堂筋都市彫刻設置検討委員会」の承認を必要とする。